

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010osk1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日東電工(株)茨木事業所R2棟建設工	階数	地上4F昇降機塔2F
建設地	大阪府茨木市下穂積3丁目580番10	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	300 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,400 時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年7月29日
敷地面積	13,076 m ²	作成者	日建設計 田中伸幸
建築面積	6,872 m ²	確認日	2014年7月29日
延床面積	21,288 m ²	確認者	日建設計 村本和博



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.5</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>低層メガプレート、ボリューム分節、セットバック等の計画手法により、近隣住居と調和しつつ、高いフレキシビリティを有する大規模研究開発拠点を実現している。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>各居室で冷暖房の切替が自由に行え、換気量も十分確保しております。</p> <p>またトップライト・庇を積極的に採用し、室内環境向上に努めております。近隣住居への配慮上、施設を屋外に開くことに制約を伴うことから、施設中央に2-4階に通じるトップライト付きのアトリウムを設け、多様な使い方ができるデザインと屋外的な修景等の工夫により、施設全体としての室内環境の快適性の向上を図っている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>天井貼っていない箇所が多く、設備の修繕・改修等も容易に行えます。均一な柱スパンと余裕のある天井高3mを確保するとともに、頻繁な改修が予定される箇所は鋼製格子により天井面を構成して、フレキシビリティの高い施設としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>2階より上階のセットバック部分には屋外テラスを設けて、休憩スペースと一体利用したり、屋外でも執務ができるように計画している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>トップライト等の自然エネルギー利用を積極的に採用しております。窓面積を必要最小限に抑えつつ、廊下の突当りや休憩スペースなどに効果的に窓を配置することによって、熱負荷低減と快適性の両立を図っている。また各ゾーン毎の消費エネルギーの計測も行っており、運用開始後の省エネルギー計画も考慮しております。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>便座、水栓等には節水型器具を採用しております。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地周辺が住宅地に隣接する立地を考慮し、建物の低層化、壁面のセットバック、建物ボリュームの分節化、屋上緑化と窓の向きの工夫による近隣住居との視線交錯回避などに配慮している。</p> <p>また実験排水については処理槽を設け、排水槽や処理槽は防水+耐薬品処理を実施。さらに排水槽、処理槽にてPH、油膜検出を行い、異常値検出時は敷地外排水への緊急遮断を関係者によるお話しをしております。</p>

■ CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	日東電工(株)茨木事業所R2棟建設工事		
	建設地	大阪府茨木市下穂積3丁目580番1の一部、588番2		
	用途/区分	事務所 工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 4.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.4	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.5	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				